

令和6年度（2024年度）
第1回基本評価等専門委員会
会 議 録

日 時：令和6年（2024年）4月15日（月） 11:05～11:30
場 所：北海道庁別館4階 第3研修室

【出席者】

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
副委員長	武岡 明子	札幌大学地域共創学群教授
委 員	石井 吉春	北海道大学公共政策大学院客員教授
委 員	大賀 京子	北海道教育大学教育学部札幌校准教授
委 員	葛西 さとみ	行政書士カサイ・オフィス
委 員	嘉藤 裕一	公募委員
委 員	中津川 誠	室蘭工業大学大学院工学研究科教授
委 員	村上 愛	北海学園大学法学部法律学科教授
委 員	村上 裕一	北海道大学公共政策大学院・法学部教授
委 員	渡部 要一	北海道大学大学院工学研究院教授

【事務局(北海道)】

北海道総合政策部計画局計画推進課長 菅原 伸一

北海道総合政策部計画局計画推進課課長補佐 栗重 理香

ほか

1 開 会

2 議 事

(1) 令和6年度 基本評価における政策評価実施方針等（案）について

【武岡副委員長】

- ・ 事務局から資料に基づき説明をお願いします。

(事務局から資料1～資料2-3に基づき説明)

【武岡副委員長】

- ・ ただ今の説明について質問、意見等があればお願いしたい。

【村上裕一委員】

- ・ 専門委員からの意見の反映や統計数値の設定など、確かにあったら我々としてありがたい規定ではあるものの、昨年度までの実態からすると、各所管部局とのやりとりでは、委員からの質問や指摘に対してむしろ「総合計画に記載がない」や「総合計画で想定されていない」といった回答が聞かれた。
- ・ ついては、現在策定中の総合計画が、政策評価が行われるということにも十分配慮されたもの、それを十分踏まえたものになることを期待している。

【事務局（総合政策部計画局計画推進課）】

- ・ 新たな総合計画を策定するにあたっては、政策評価を通じて進捗管理を行うことをしっかりと見据えて、目標の達成状況を表す指標などを整理した上で取りまとめを行ったところ。
- ・ それを踏まえ、政策評価の実施にあたっては、まずは政策体系を整理し、それにより個々の施策における目標等の適切な設定・管理につなげていくことが重要と考えており、「総合計画に記載がない、想定されていない」ということにならぬよう、評価調書においても各施策の現状・課題や目標値の設定が適切であるかを重視し、評価の実施を見据えた整理を各部局に求めている。

《その他意見等なし》

【武岡副委員長】

- ・ その他意見がなければ、令和6年度基本評価における政策評価実施方針等については、案のとおり了承することよろしいか。

《異議等なし》

(2) 令和6年度 特定課題評価（案）について

【武岡副委員長】

- ・ 事務局から資料に基づき説明をお願いします。

(事務局から資料3-1及び資料3-2に基づき説明)

【武岡副委員長】

- ・ ただ今の説明について質問、意見等があればお願いしたい。

【中津川委員】

- ・ 資料3-1について、前回の委員会でも申し上げたが、人材を確保し、増やすといった目標を設定しておられるようだが、これははっきり言って難しいと思う。もちろん、増やすという量的な問題も大切だが、人材が足りない中でも、持続的な発展ができる様にするだとか、そういう政策を考えないと、現実的な話にならないのではないか。
- ・ 例えばデジタル化を進めて、持続的な発展を促していくなど、そういった関連の指標を設定するべきであり、ただただ人材を増やすという指標設定だけで進めていくと、難しいのではと思う。その辺りを工夫した目標設定が必要と考える。

【事務局（総合政策部計画局計画推進課）】

- ・ 委員がおっしゃるとおり、単純に人材を増やすことは、人口減少という状況の中でなかなか難しいと考える。今いる人材を育成していく、または確保していくという取り組みと合わせて、ICTやDXを活用して課題を解決していくことも必要との認識であり、その点も各部局へ伝えてまいる。

【中津川委員】

- ・ 人材育成のその先に何があるかを考えると、例えば生産性向上とか、持続的な発展といったものがあるかと思う。そういうものを打ち出したり、十分な人材が確保できなくとも、デジタル化やDXの推進といった形での指標を設定していく方が良いと考える。

【事務局（総合政策部計画局計画推進課）】

- ・ まずは、各部局に対して現状と課題を整理するよう伝えているところであり、ご指摘の点を踏まえながら調整を進めてまいる。

《その他意見等なし》

【武岡副委員長】

- ・ 委員からのご指摘を踏まえ、事務局において適切な措置を講じるとともに、必要に応じてこの旨を委員長にもお伝えする。
- ・ その他の意見がなければ、令和6年度特定課題評価については、案のとおり了承することによろしいか。

《異議等なし》

3 その他

【武岡副委員長】

- ・ 事務局から資料に基づき説明をお願いする。

(事務局から参考資料4に基づき、令和6年度基本評価及び特定課題評価スケジュールを説明)

【武岡副委員長】

- ・ ただ今の説明について質問、意見等があればお願いしたい。

【嘉藤委員】

- ・ 議事とは直接的に関係がないが、質問事項である。現在、総合計画についてはパブリックコメントを実施していると承知しているが、私（政策評価委員会委員）も意見を提出できるとの理解で間違いないか。

【事務局（総合政策部計画局計画推進課）】

- ・ お見込みのとおり。

《その他発言等なし》

4 閉 会

- ・ 現在、新たな総合計画を夏頃までに策定する予定であり、スケジュールの都合上、計画案をベースとして評価に係る作業を進めることとなるので、引き続きよろしく願います。